

保存版

いつでも目の届く場所に
置いておきましょう。

備えて安心 **山口市**

防災ガイドブック



津波・高潮編

平成 11 年台風第 18 号 (秋穂二島)

ガイドブックの使い方 P1, P2
 指定緊急避難場所等 P3, P4
 日頃の備え
 防災情報の集め方 P81
 備蓄 P82
 家族との連絡 P82
 災害・避難カード 裏表紙

津波を知ろう
 山口市に津波被害をP5
 もたらした地震
 津波発生のしくみ P5
 津波の特徴 P6
 津波浸水想定区域
 断層モデル P7
 津波災害警戒区域と
 基準水位 P8
 津波に関する情報 P9
 津波からの避難 P10

津波ハザードマップ
 索引図・凡例 P11
 想定条件 P12
 地図情報 P13～P42

高潮を知ろう
 過去の災害記録 P43
 高潮発生のしくみ P43
 発生しやすい条件 P44
 避難に備えて P45, P46
 いざ避難 P47
 台風にも備えて P48

高潮ハザードマップ
 索引図・凡例 P49
 想定条件 P50
 地図情報 P51～P80

防災ガイドブックを見て、次のことに備えましょう

- 津波(地震)に備えて：海岸沿いにいるときに地震が発生したとき、どのように行動したら良いか、(10 ページ)を参考に家族や地域で話し合っておきましょう。
- 高潮(台風など)に備えて：台風接近時など高潮災害が起こりそうなとき、避難に備えて(45 ページ)を参考に、いつ、どのような時に避難するかを話し合っておきましょう。
- あらかじめ、地震や台風を含む風水害などに備えて、家族との連絡手段や備蓄品の確認をしておきましょう(82 ページ)。

ステップ
 ④ 実際に避難経路を歩いてみて、安全が確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



ステップ

⑤ 非常持ち出し品を準備しましょう。

裏表紙の「持ち出し品のチェック」を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。



ステップ

⑥ わが家の防災メモを記入しましょう。

普段から指定緊急避難場所・指定避難所を確認して、裏表紙にある「災害・避難カード」に記入しましょう。安否確認のために家族や知人、親戚等の連絡先を記入しておきましょう。



保存版 いつでも目の届く場所に置いておきましょう。

備えて安心

川東 陶 鑄 名田島 秋穂 秋穂 佐山 嘉川 小郡 阿須

山口市 防災ガイドブック

保存版 いつでも目の届く場所に置いておきましょう。

備えて安心

川東 陶 鑄 名田島 秋穂 秋穂 佐山 嘉川 小郡 阿須

山口市 防災ガイドブック

- 大雨への備え(7～10ページ)
- 地震への備え(15～16ページ)
- 要配慮者への対応(19ページ)
- 防災講座のお知らせ(20ページ)
- 自主防災組織の活動 など

地震や風水害などの災害に備えて、事前の備えや災害時の行動について考えておくための資料として、「山口市防災ガイドブック」を配布しています。「防災ガイドブック 津波・高潮編」と併せてご確認いただき、いざというときに慌てず避難ができるようにしておきましょう。

防災ガイドブックを再確認!

名称	掲載ページ		所在地	【災害適応種別】※							標高(m)	
	津波ページ	高潮ページ		地震災害			風水害					
				津波		地震	高潮		洪水	土砂		
				適応	浸水深(m)		適応	浸水深(m)				
■地域交流センター等(自主避難の受け入れから対応しています)												
陶地域交流センター	25	63	陶	○		○	○	0.3	○	○	6.9	
鑄銭司地域交流センター	25	63	鑄銭司	○		○	○		○	○	9.4	
名田島地域交流センター	15,26	53,64	名田島	○		○	—	4.5	②	○	2.3	
二島地域交流センター	33	71	秋穂二島	○		○	○		○	○	12.5	
嘉川地域交流センター	18	56	嘉川	○		○	○		○	○	11.0	
佐山地域交流センター	20	58	佐山	○		○	○		○	○	11.0	
小郡地域交流センター	14	52	新丁	○		○	○		②	—	6.8	
秋穂保健センター	37	75	秋穂	○		○	○		○	○	15.7	
阿知須地域交流センター	22,23	60,61	飛石中	○		○	②	2.5	○	○	3.7	
■その他の施設(開設時には山口市からお知らせします)												
陶小学校	体育館	25	63	陶	○		○	○		○	○	9.1
	校舎				○		○	○		○	○	
瀧上中学校	体育館	27	65	陶	○		○	○		○	○	10.0
	校舎				○		○	②	0.8		○	
陶隣保館		26	64	陶	○		○	○		○	—	14.1
西円寺幼稚園		25	63	陶	○		○	○		○	○	11.5
名田島小学校	体育館	28	66	名田島	—	0.01~1.0	○	—	5.5~6.0	—	○	2.1
	校舎				—	0.01~1.0	○	—	5.5~6.0	②	○	
にこにこ学級		28	66	名田島	—	0.3~1.0	○	—	5.8	—	○	1.7
山口南総合センター		15,26	53,64	名田島	○		○	—	4.5	—	○	2.8
二島小学校	体育館	33	71	秋穂二島	○		○	○		○	○	14.6
	校舎				○		○	○		○	○	
二島中学校	体育館	29,33	67,71	秋穂二島	○		○	○		○	○	22.7
	校舎				○		○	○		○	○	
旧二島幼稚園		33	71	秋穂二島	○		○	○		○	○	12.5
潮寿荘		38	76	秋穂二島	○		○	○		○	○	22.5
嘉川小学校	体育館	16	54	嘉川	○		○	○		○	○	15.8
	校舎				○		○	○		○	○	
興進小学校	体育館	18	56	嘉川	○		○	○		○	○	12.2
	校舎				○		○	○		○	○	
川西中学校	体育館	18	56	嘉川	○		○	○		○	○	8.4
	校舎				○		○	○		○	○	
嘉泉荘		16	54	嘉川	○		—	○		○	○	10.9
ハートホーム南山口(青藍会)		18,19	56,57	嘉川	○		○	—	3.0~3.5	○	○	3.9
佐山小学校	体育館	20	58	佐山	○		○	○		○	○	10.0
	校舎				○		○	○		○	○	
小郡ふれあいセンター		14	52	新丁	○		○	②	2.1	—	○	3.9
小郡保健福祉センター		14	52	山手下	○		○	○		②	—	6.4
上郷小学校	体育館	13	51	光が丘中	○		○	○		○	—	46.1
	校舎				○		○	○		○	○	
小郡小学校	体育館	14	52	座敷	○		○	—	1.7~2.2	—	○	3.9
	校舎				○		○	②	1.7~2.2	③	○	
小郡南小学校	体育館	14,15	52,53	黄金町	○		○	—	3.7	—	○	3.0
	校舎				○		○	—	3.5	②	○	
小郡中学校	体育館	14	52	中央通	○		○	—	1.8	—	○	3.9
	校舎				○		○	②	1.9	③	○	
	武道場				○		○	—	1.9	—	○	
小郡体育館		14	52	蔵敷区	○		○	—	1.9	—	○	3.9
小郡南集会場		14,15	52,53	緑町	○		—	—	4.5	—	○	2.6

名称	掲載ページ		所在地	【災害適応種別】※							標高(m)	
	津波ページ	高潮ページ		地震災害			風水害					
				津波		地震	高潮		洪水	土砂		
				適応	浸水深(m)		適応	浸水深(m)				
■その他の施設(開設時には山口市からお知らせします)												
小郡上郷児童館	13	51	仁保津下	○		—	○		○	○	17.8	
小郡上郷保育園	13	51	仁保津下	○		○	○		—	○	8.1	
山口県立山口農業高等学校 体育館・武道場	13	51	仁保津下	○		○	○		○	○	37.1	
KDDI維新ホール	14	52	令和一丁目	○		○	②	3.9	②	○	2.9	
山口学芸大学体育館	13	51	仁保津下	○		○	○		○	—	24.6	
山口県鴻城高等学校体育館	14	52	柳井田	○		○	—	2.0	—	○	4.7	
秋穂地域交流センター	37	75	秋穂	○		○	—	2.5~2.7	○	○	3.9	
大海総合センター	31	69	秋穂	○		○	—	2.5~2.7	○	○	4.7	
大海小学校	体育館 校舎	31,35	69,73	秋穂	○		○	—	2.2	○	○	4.4
					○		○	②	2.2	○	○	
秋穂小学校	体育館 校舎	37	75	秋穂	○		○	—	1.8	○	○	5.1
					○		○	②	0.4	○	○	
秋穂中学校	体育館 校舎	36,37	74,75	秋穂	○		○	○		○	○	19.6
					○		○	○		○	○	
大海なかよし学級	35	73	秋穂	○		○	—	1.9	○	○	4.5	
秋穂デイサービスセンター	36	74	秋穂	○		○	○		○	○	12.3	
秋穂コミュニティセンター	37	75	秋穂	○		—	○		○	—	25.7	
秋穂荘	40	78	秋穂	○		○	○		○	○	88.2	
阿知須体育センター体育館	22,23	60,61	飛石中	○		○	—	2.8	—	○	4.0	
阿知須健康福祉センター	22,23	60,61	飛石中	○		○	—	2.8	—	○	3.9	
阿知須小学校	体育館 校舎	23	61	浜	○		○	—	3.3	②	○	3.8
					○		○	③	2.5~3.3	②	○	
井関小学校	体育館 校舎	範囲外		岡	○		○	○		○	○	20.3
					○		○	○		○	○	
阿知須中学校	体育館 校舎	22,24	60,62	沖の原	○		○	—	0.3~3.1	—	○	3.4
					○		○	—	2.8~3.2	②	○	

※「○」:利用可、「—」:利用不可、「②」:2階以上が利用可(3階以上は③)

■広域避難場所					
山口南総合センター	15,26	53,64	名田島		2.8
藤尾山公園	19	57	佐山		18.7
河原谷公園	範囲外		佐山		79.3
山口市営阿知須合同納骨塔	24	62	阿知須		32.9

避難施設

	指定緊急避難場所 (地域交流センター等)	災害が発生するおそれがある時や災害発生時に緊急的に避難し、身の安全を確保するための施設です。市内の指定緊急避難場所は、災害発生時に一定期間滞在することができる指定避難所を兼ねています。
	指定緊急避難場所 (地域交流センター以外の施設)	
	指定緊急避難場所 (広域避難場所)	大規模災害時に発生する延焼火災やその他の危険から避難者の生命を保護するための面積を有する大規模な公園、緑地等のオープンスペースです。

避難所の開設は、次のような手順で行います

- 最初に自主避難の受け入れに対応している地域交流センター等を開設します。
- 次に、対象地域の状況などを総合的に判断して、小中学校等を開設します。

※開設時には山口市からお知らせします。
※避難所ではペットの受け入れが可能です。詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。

市が指定した避難所以外の安全な場所への避難も考えましょう。

避難所では、次のような環境整備を行っています

- 密集状態の回避や消毒・換気など感染症予防の徹底
- 高齢者や障がいのある方が安心して避難できるよう、車椅子やベッド等の資機材の配備

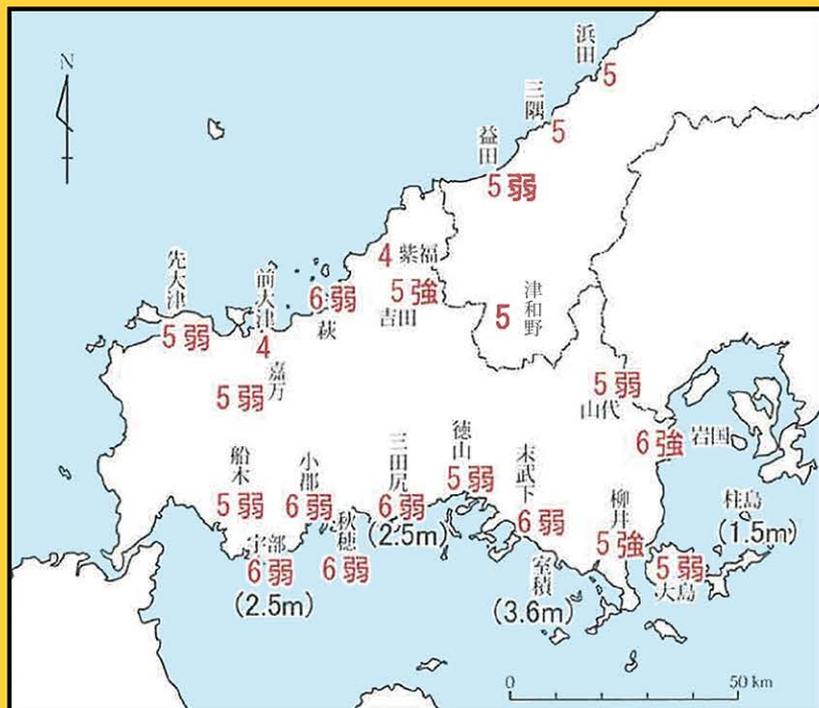
海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に押し寄せるものが津波です。

津波を知ろう

山口市に津波被害をもたらした地震

1854年安政南海地震(南海トラフ沿いで発生した地震)では、宇部市から防府市の沿岸域の津波高は約2.5mと推定されています。また、小郡で震度6弱程度の強い揺れが記録されています。

■安政南海地震による山口県の震度と津波高(津波水位)



出典:地震・津波被害想定調査報告書,山口県(平成26年)

山口市に津波被害を及ぼす地震は、活断層型(周防灘断層群主部の地震)、南海トラフ沿いで発生する地震があります。

【周防灘断層群主部の地震】

断層運動が海底に達し、海底が大きく変動したときに、津波を発生することがあります。



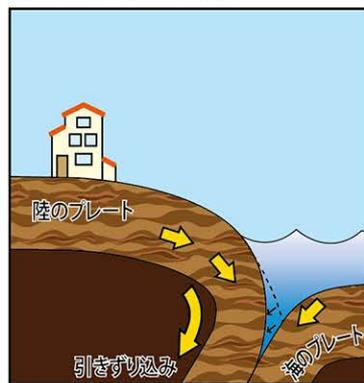
【南海トラフ巨大地震】

海のプレートが陸のプレートの下へ沈み込む時に、陸のプレートが下に引きずり込まれます。この陸のプレートがその力に耐えきれず、元に戻ろうとする時に地震が発生します。この地震は巨大地震となることがあり、津波を伴います。

● 津波の発生

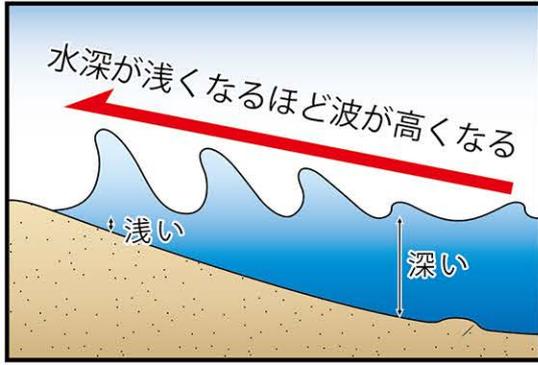


● ひずみの蓄積



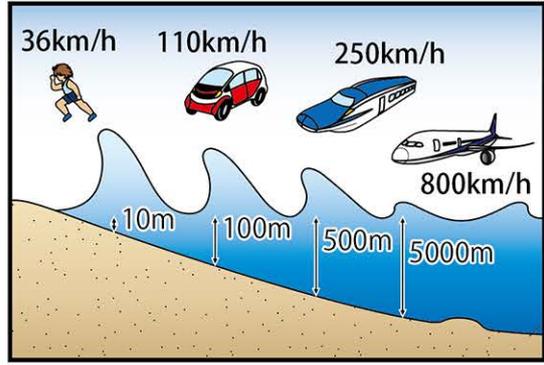
津波発生のおしり

● 想像以上の高さ



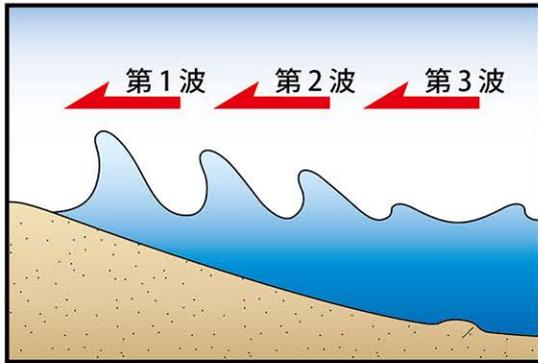
津波の高さは海岸の地形等に大きく左右されます。東日本大震災では、想像以上の津波が確認されています。

● ジェット機並みの速さ



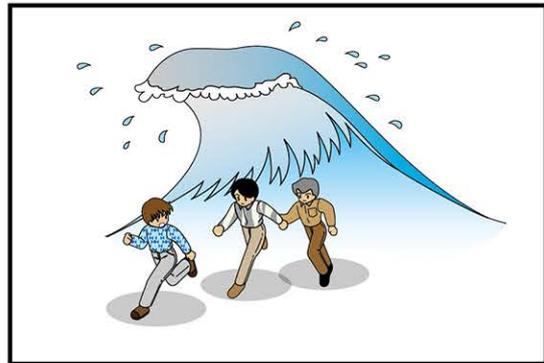
津波の速さは海が深いほど速く、太平洋ではジェット機並み。海岸近くでも36km/hの速さなので、津波が見えてからでは逃げ切れません。

● 津波は繰り返す



津波は繰り返し襲ってくるので、1回目で安心しないこと。しばらく注意し、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないようにしましょう。

● 予兆も無く襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。地震の起こり方や、震源付近の地形によっては、引き潮が起こらないこともあります。

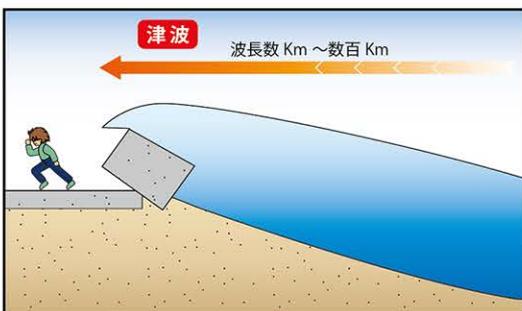
津波は、「30cm」の波でも危険

津波は海底から海面までの海水全体が動くエネルギーの大きな波であり、風が吹くことによって海面付近の海水が動く現象である「波浪」と大きく異なります。

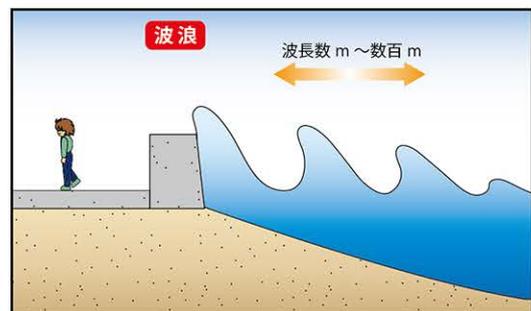
津波が高くなってくると、それにつれて海水全体の動きも大きくなり、高さ20~30cm程度の津波でも人は速い流れに巻き込まれてしまうおそれがあり大変危険です。



気象庁は20cm以上の津波が予想された場合は津波注意報を発表します



● 津波
海底から海面まで海水全体が押し寄せる



● 波浪
海面付近の海水だけが押し寄せる

津波浸水想定区域

瀬戸内海沿岸において、最大クラスの津波を想定するため、県は過去に県沿岸に襲来したことのある津波の痕跡等をもとに想定した、次の津波断層モデルによって計算をし、最大となる浸水域、浸水深及び基準水位を示しました。

津波を想定する地震の断層モデル

① 南海トラフ巨大地震

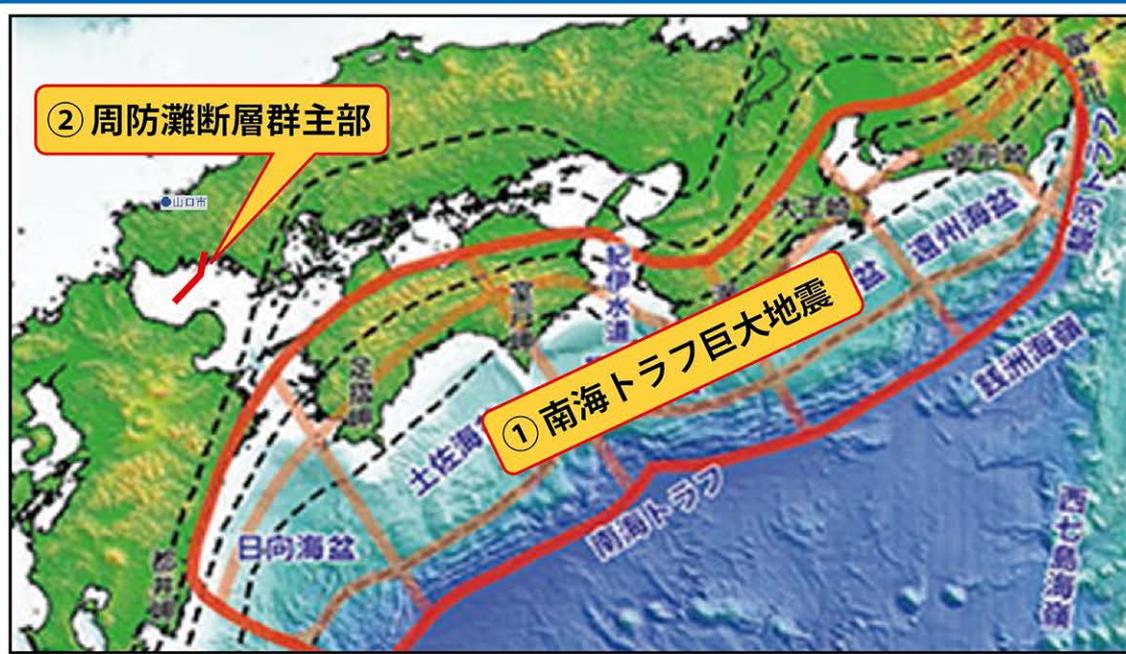
(断層の壊れ方などの条件を変え、5ケースで実施)

② 周防灘断層群主部の地震

【津波対策の考え方】

平成23年東日本大震災による甚大な津波被害を受け、内閣府中央防災会議専門調査会では、新たな津波対策の考え方を平成23年9月に示しました。

この中で、今後の津波対策のうち、住民避難を検討する場合は「想定する最大クラスの津波」を対象とすることになりました。



想定される津波水位及び到達時間

「南海トラフ巨大地震」及び「周防灘断層群主部」の地震による代表地点における最高津波水位・最高津波水位の到達時間は次のとおりです。

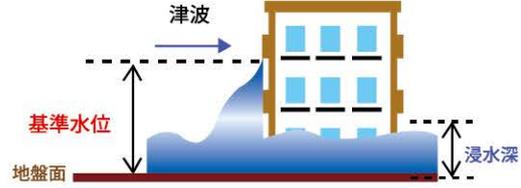
代表地点	南海トラフ巨大地震				周防灘断層群主部			
	最高津波水位		最高津波水位到達時間	海面変動影響開始時間※2	最高津波水位		最高津波水位到達時間	海面変動影響開始時間※2
	T.P.※1	うち津波波高			T.P.※1	うち津波波高		
相原漁港	2.5m	0.9m	337分	75分	2.0m	0.4m	77分	0分
秋穂漁港(秋穂地区)	3.1m	1.5m	367分	63分	2.6m	1.0m	24分	13分
秋穂漁港(大海地区)	3.2m	1.6m	308分	59分	2.8m	1.2m	20分	11分

※1「T.P.」は、東京湾平均海面のことで、日本の標高の基準面になります。

※2「海面変動影響開始時間」は、代表地点で地震発生直後海面に±20cm(海辺にいる人の人命に影響がでる恐れのある水位の変化)の変動が生じる時間です。

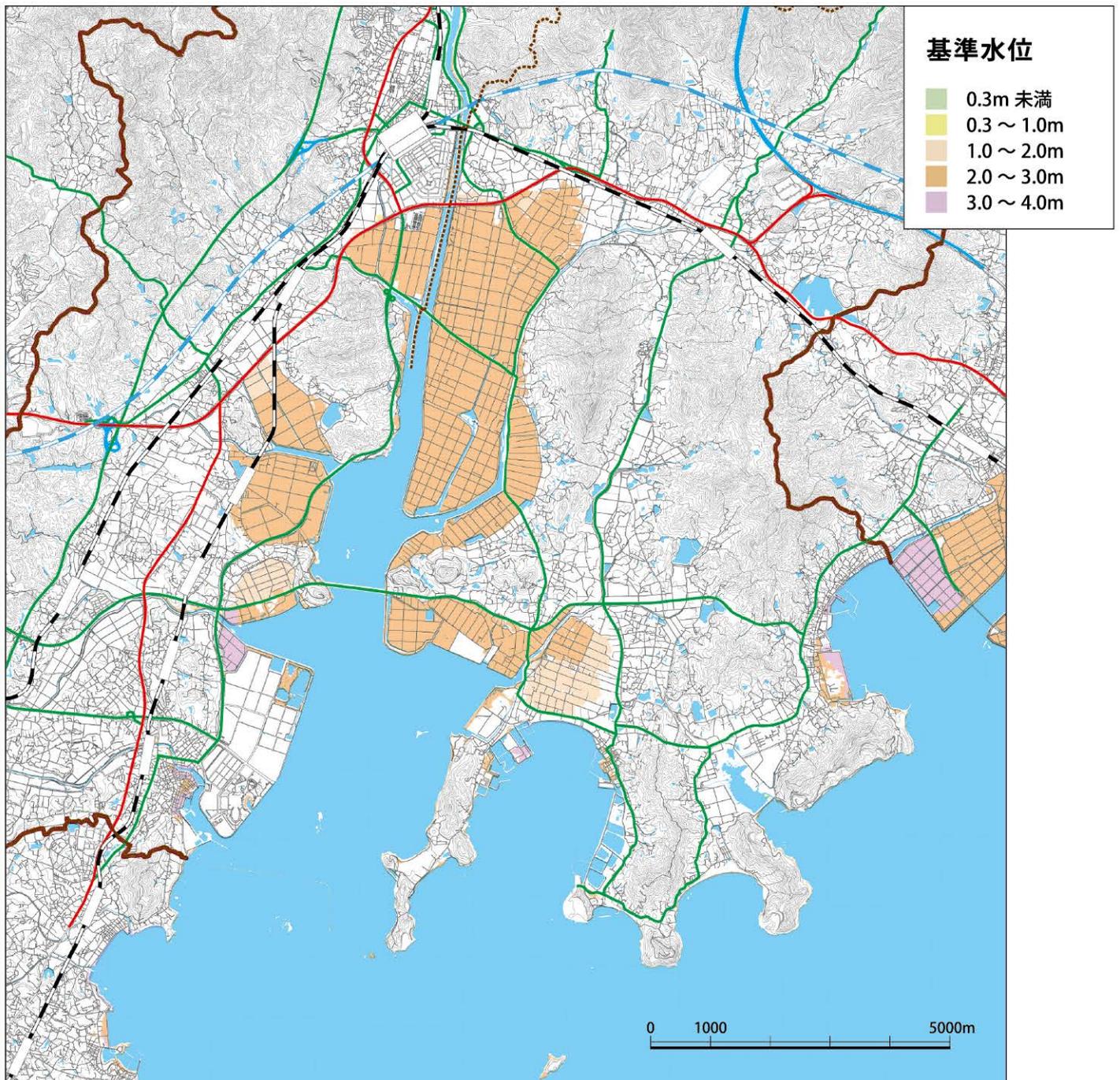
津波災害警戒区域

- 津波ハザードマップの津波浸水想定区域は、「住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域」である「津波災害警戒区域」に指定されています。
【津波防災地域づくりに関する法律第53条】
- 津波災害警戒区域では津波浸水想定のおおし水深に津波が建物等にぶつかった時のせり上がりを加えた水位である、「基準水位」が設定されています。
- 「津波災害警戒区域」及び「基準水位」の詳細については、山口県土木建築部河川課の「山口県の津波災害警戒区域」をご確認ください。



津波災害警戒区域と基準水位

基準水位



津波警報・注意報の種類

気象庁は、地震が発生した時には地震が発生してから約3分を目標に津波に関する情報を津波予報区単位で発表します。

この時、予想される津波の高さを下に示す5段階の数値で発表します。

種類	発表基準	発表基準		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ)	巨大地震の場合 の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<最大波の高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<最大波の高さ≤10m)		
		5m超 (3m<最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

※東日本大震災のような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報・注意報を発表します。

山口市の津波予報区：山口県瀬戸内海沿岸

津波警報・注意報と避難のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

津波から身を守るためには、避難する以外に方法がありません

(避難の考え方)

1. 地震発生直後はどこで起こった地震かわかりません

※周防灘断層群主部のように瀬戸内海で発生する地震では、津波はすぐに到達

海岸付近にいる場合は、揺れを感じたら情報を待たずに、すぐに高台や高い建物に避難！

2. 震源についての情報がわかったら

※数分後には、気象庁から津波に関する情報が発表され、市が避難に関する情報を発表

市の情報に従い、すみやかに避難しましょう。

何度も津波の被害を受けている三陸地方には「津波てんでんこ」という言葉があります。

津波から逃げる時、家族を待っていれば逃げ遅れてしまうので、一人でもとにかく逃げろ、という言い伝えを言葉にしたものです。

津波に限らず、日頃から避難先や集合場所などを話し合っておくことで、列々に逃げるのが可能となります。

津波を伴う地震では、揺れによる被害が発生することも考えられます

● 建物倒壊・家具転倒

地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒によるものであり、阪神・淡路大震災では死者の約8割を占めていました。



木造建物の被害の例

● 土砂災害

地震などの影響で、急なげけ地や山の斜面が突然崩れ落ちてきます。



土砂崩れの被害の例

● 液状化現象

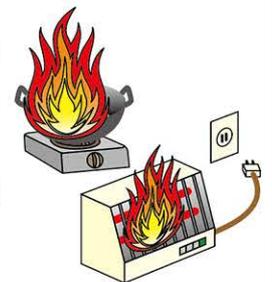
地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などでは、地震の激しい揺れにより、地盤が一時的に液体のようにやわらかくなる液状化現象が発生します。

液状化により建物が傾いたり、地下の埋設管が損傷しライフラインが寸断したりします。



● 火災

地震の揺れにより、暖房器具が転倒して火災が発生したり、停電からの電力復旧に伴い、電化製品が再稼働して可燃物に引火する通電火災が発生する事があります。



地震の揺れにも注意が必要です

● けがをしたら、津波からの避難ができません

→ 日頃から、家具の固定など揺れに対する備えも行いましょう
(山口市防災ガイドブック 16 ページ)

● 土砂災害や液状化現象、ブロック塀等の倒壊で道路が使えなくなる場合があります

→ 平常時に複数の避難路を確認しておきましょう

高潮とは、台風や強い低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。

高潮を知ろう

過去の災害記録



昭和17（1942）年周防灘台風

8月21日に南の海上で発生した台風は、九州西部に上陸後、山口県西方を通過しました。台風の接近が大潮の満潮時と重なり、強風により高潮が発生、周防灘一帯で大きな被害が発生しました。

平成11（1999）年台風第18号

沖縄の南海上で発生した台風は、熊本県北部に上陸した後、九州北部を通り、9月24日9時前に山口県宇部市付近に再上陸しました。

九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過した24日に著しい高潮となり、山口市でも大きな被害が発生しました。



◀平成11年9月
台風18号高潮被害（秋穂）



▲平成11年9月
台風18号高潮被害（阿知須）



▲昭和17年
周防灘台風（名田島）

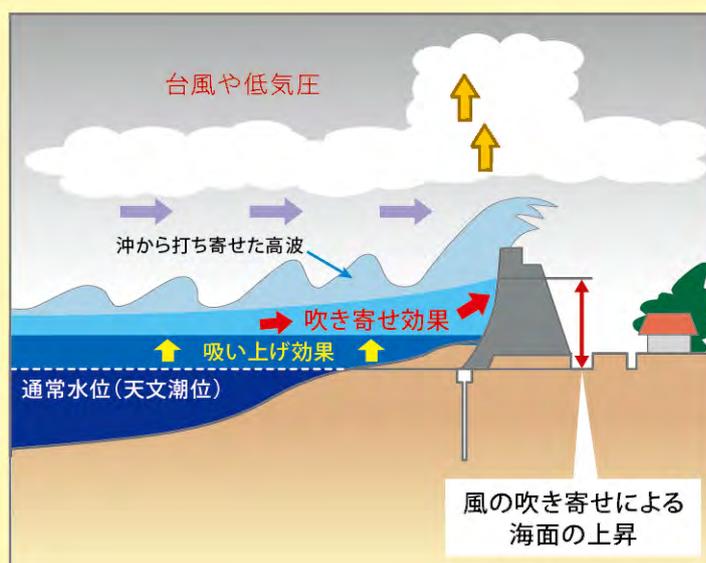
台風18号の接近と大潮の満潮が重なったことから、予想を超える高潮により、秋穂二島地域、嘉川地域、秋穂地域、阿知須地域では、堤防の決壊等により、多数の家屋が床上浸水等の被害を受けました。

①吸い上げ効果

台風や低気圧の中心気圧は周囲より低いため、周辺の大気圧は海面を押さえつけ、中心付近の空気が海面を吸い上げようと作用し、海面が上昇します。

②吹き寄せ効果

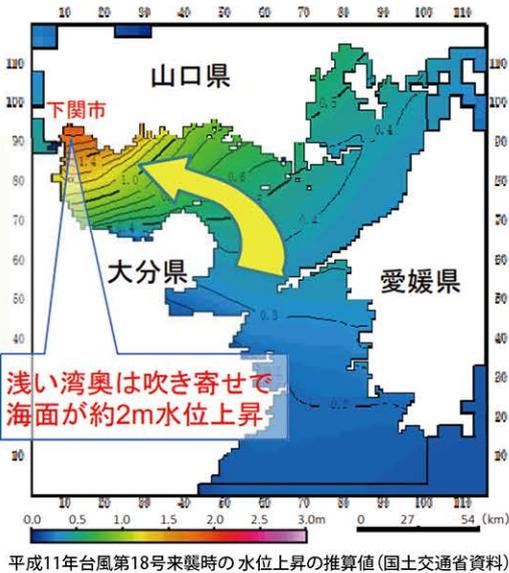
台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海面が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



高潮発生のしくみ

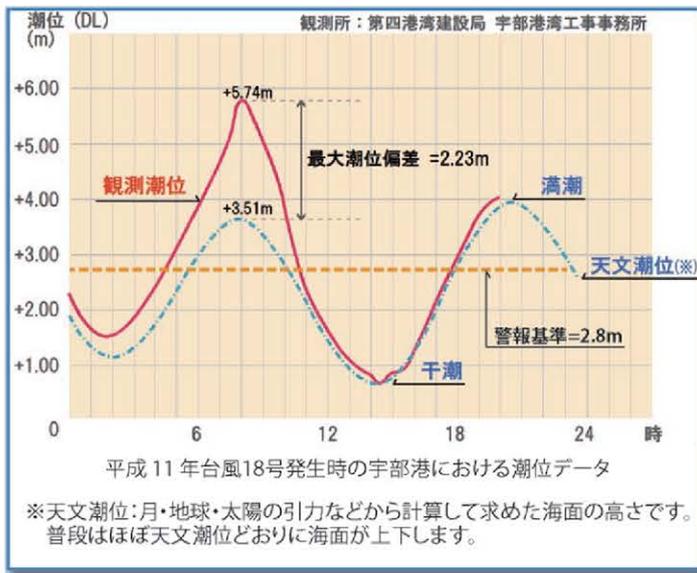
● 台風の進路

台風は、進行方向の右側で風が強くなります。
 また、周防灘では、関門海峡が非常に狭くなっているため、強い東よりの風によって吹き寄せられる海水が玄界灘に流出する量より大きくなると高潮が発生しやすくなる特徴があります。



● 台風接近時の潮位

潮位の高い満潮時刻の前後数時間に台風が接近すると、高潮発生危険が高くなります。
 特に、大潮(満月や新月)のときは、満潮時の潮位が高いため、より被害が発生しやすくなります。

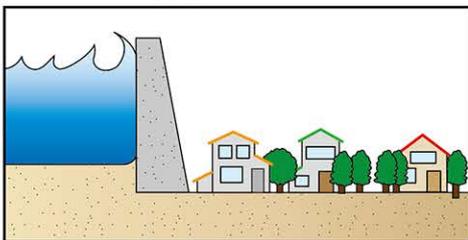


高潮は、台風の進路や潮位、周辺の地形などによって影響を受けます。
高潮被害が発生しやすい条件

● 周辺の地形

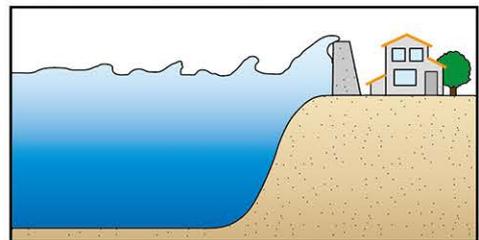
高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状により大きく異なります。つぎのようなところでは、特に高潮に対する注意が必要です。

ゼロメートル地帯



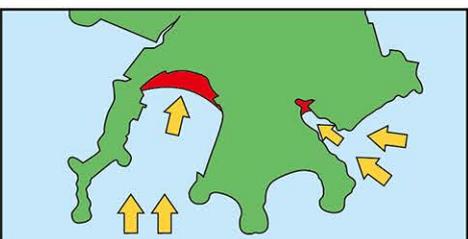
平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。

急に深くなる海底地形



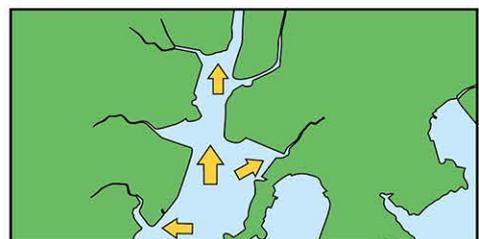
押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

湾の奥のほう



押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

河口のまわり



高潮の被害と河川の氾濫等、危険が重なる。



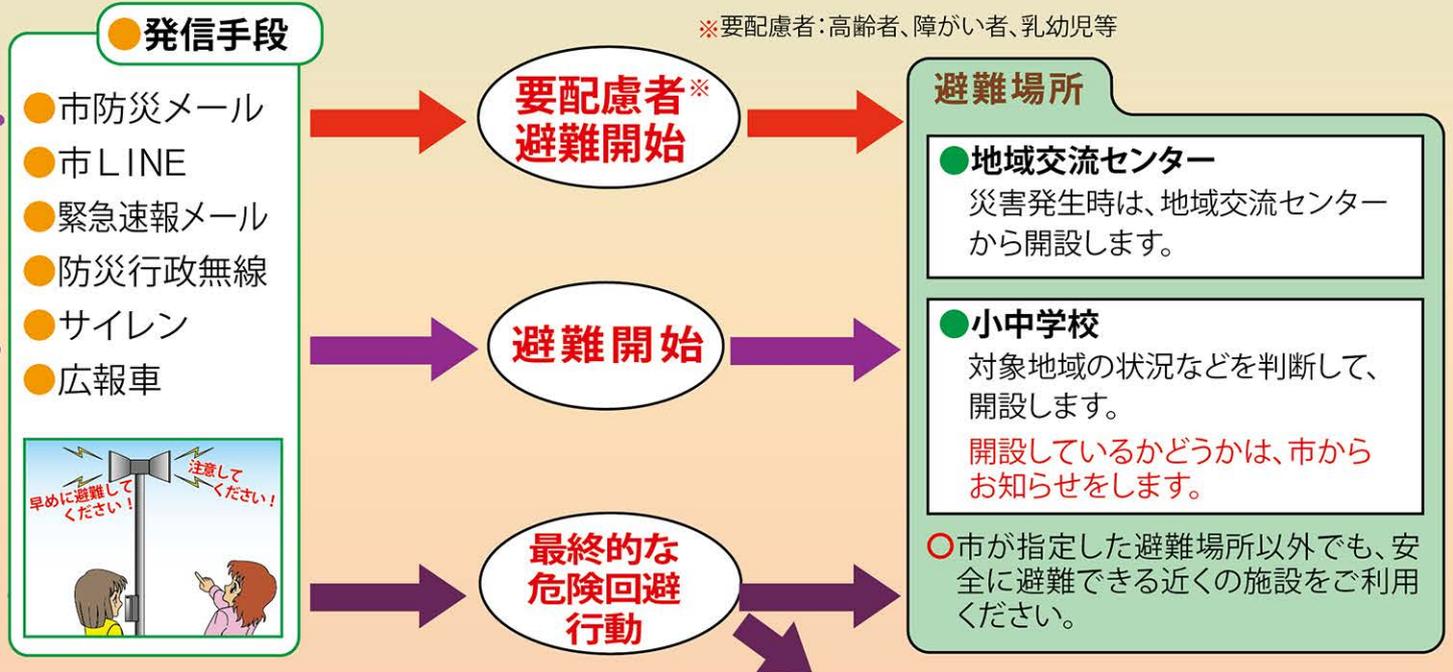
避難に備えて

台風や前線の活動などによる大雨は、事前に対策を取ることができません。いつ、どこに逃げるかをあらかじめ相談しておきましょう。避難のタイミングは、「警戒レベル」の他に、気象情報や水位情報、土砂災害の危険に関する情報など、色々な情報が発表されるので、有効に利用してください。

- メディアを利用して気象情報を確認
- ハザードマップ等により、避難の必要性や避難ルートの確認※
※自宅等の災害危険性を確認し、避難の必要があるかどうかを確認しておく
- 満潮時間の確認
- 防災グッズ、非常持ち出し品(裏表紙の下部参照)の準備
- 携帯電話などの充電
- 自宅保全(48ページ「台風」に備えて」参照)
- テレビ、インターネット、携帯メール等による、大雨や潮位、河川状況の確認
- 台風の接近や暴風雨の時間帯を確認
- 危険地域に住む親せき、知人に避難を促す連絡

● 防災メールや市ホームページなどによる警報お知らせ

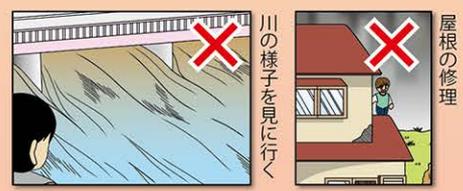
暴風になるのが夜になりそうなら、明るいうちに避難しよう。



避難所等へ移動が難しい場合には、2階以上の高い建物・がけから離れた2階以上の部屋へ避難

危険な行動は取らない

台風が接近しているときや、豪雨の危険性があるときは、不要な外出は控え、建物内で通り過ぎるのを待ちましょう。河川や用水路の見回りはやめ、屋根の補修等は台風が近づく前に済ませておくようにしましょう。



雨の時間等や降り方によって、情報発表のタイミングは変わります。

気象状況

気象情報と災害の様子

山

警戒レベル

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

レベル5

台風発生

台風接近

暴風雨域に入る前

越波・決壊・越流など

高潮

洪水

土砂災害

早期注意情報

高潮注意報

大雨・洪水注意報



大雨警報
(土砂災害)

高潮注意報
(高潮警報に切り替える可能性に言及)

さらに水位が
上昇する見込み

土砂災害の危険度が
高くなった場合

暴風警報
波浪警報

氾濫危険情報

土砂災害
警戒情報

高潮警報
高潮特別警報

さらに水位が
上昇

決壊か越水のおそれがある

土砂災害が発生
または危険度が増大

堤防天端高に
到達など

高潮氾濫
発生情報

氾濫発生情報
大雨特別警報
(浸水害)

大雨特別警報
(土砂災害)

氾濫発生



警戒配備
体制

避難所
準備

高齢者等避難

避難指示

警戒レベル4
までに
必ず避難!

緊急安全確保

避難解除

余裕時間大
(切迫性低)

余裕時間

(危険性の切迫)

余裕時間小
(切迫性高)

情報・学習編

津波対策(地震災害)編

津波対策地図

高潮対策(台風災害)編

高潮対策地図

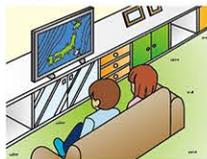
避難のポイント

高潮浸水 想定区域図	5.0m以上の浸水	家屋が倒壊する おそれがあります。	→	早めに安全な場所へ 避難 ・避難場所 ・高台 逃げ遅れたら 頑丈で高い建物へ
	3.0～5.0mの浸水	家屋が水没する おそれがあります。		
	0.5～3.0mの浸水	床上浸水のおそれ があります。		
	0.5m未満の浸水	床下浸水のおそれ があります。		
	浸水想定区域外	浸水の可能性は ゼロではありません。		
土砂災害	土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 ・がけ崩れ ・土石流 ・地すべり	土砂災害の危険が あります。	→	早めに安全な場所へ 避難 ・避難場所 逃げ遅れたら がけから離れた2階 以上の部屋へ

※防災ガイドブックで洪水の浸水想定区域図も確認しましょう

● 積極的な情報収集と早めの避難を

携帯電話、テレビ、ラジオ等で
気象情報、災害情報などを収集し
ましょう。雨の降り方や浸水の状
況に注意し、危険を感じたら早め
に避難しましょう。



※81 ページを参考に情報を集めましょう

● 要配慮者の避難に協力を

要配慮者（高齢者や子ども、病人、
障がいのある人など）は、早めの
避難が必要です。近所の要配慮者
の避難に協力しましょう。



● 避難する前に、もう一度 火の元の確認を

忘れずにガスの元栓を閉
め、電気のブレーカーを切
りましょう。



● 持ちものや服装を考えて、 2人以上での避難を

避難するときは、非常
持ち出し袋を持ち動きや
すい服装で、2人以上の行
動を心がけましょう。



高潮に嚴重な注意！！

- ① 台風が九州に接近し、周防灘に強い東風が吹き抜けるとき
- ② 台風の接近が満潮時と重なりそうなとき。
特に満月や新月近くの大潮のとき
- ③ 台風が山口市周辺を通過しそうなとき

台風が接近すると、猛烈な雨や風にみまわれます。
空振りをおそれず、台風接近前に安全な場所に避難しましょう。

ガイドブックをもとに、いつ・どこに避難をしたら良いか、考えておきましょう。
また、避難の手順を話し合っておくと、落ちついて避難ができます。

台風による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましよう。

家屋の風水害対策

● 雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や土砂が詰まっているか。継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。

● 窓ガラス

ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。外側から板などでふさぐ。

● ベランダ

鉢植えや物干しざおなど飛散の危険性が高いものは室内へ。

● 屋根

瓦のひび・ずれなどはないか。トタンのめくれ・はがれはないか。

● ブロック塀

ひび割れや破損箇所はないか。

● 外壁

外壁に亀裂はないか。板壁の場合、腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。

● 側溝

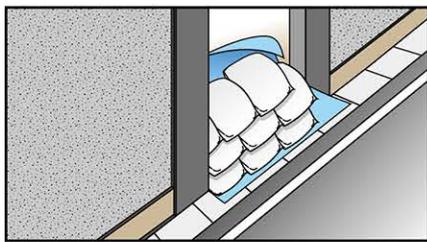
目詰まりしていないか。雨水が速やかに排出されるか。

住宅の浸水被害を防ぐためには

雨水が浸入しないように土のう、止水板を設置することや、普段から道路の側溝などを掃除して、雨水が排水できるようにしておくことで、住宅の浸水被害を防ぐことができます。

● 土のう

出入りにブルーシート等で包んだ土のうを置き、雨水の浸入を防ぎます。



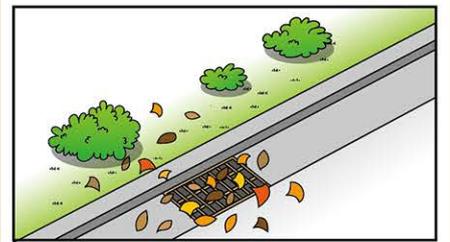
● 止水板

出入りに長めの板などを設置して、水のうなどで固定して、浸水を防ぎます。板がない場合は、テーブル・タンス・ロッカー・畳などで代用することも可能です。



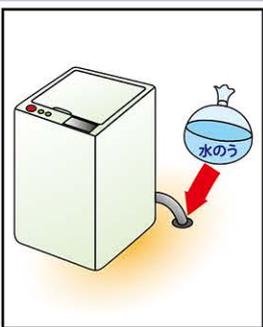
● 側溝や雨水ますの集水口の確認

道路の側溝や雨水ますの集水口（グレーチング）に落ち葉などが詰まっていないか確認しましょう。詰まっていたら、取り除いておきましょう。



思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう

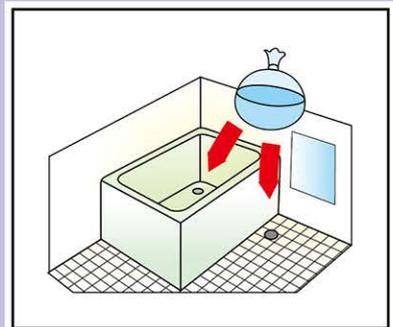
住宅の周辺が浸水すると、下水が逆流して、トイレ、風呂場や洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。ビニール袋に水を入れた水のうを置くと、逆流を抑える効果があります。



洗濯機の排水溝からの逆流防止



トイレからの逆流防止



風呂場の排水溝からの逆流防止

【日頃の備え】

防災情報の集め方

市内の防災情報や気象情報等を、携帯電話で取得できる「山口市防災メール」や「山口市LINE公式アカウント」に登録して、いつでもこのための備えましょう。

山口市防災メールを活用しよう！

1 災害情報

地震や津波、大雨等の気象警報等、災害に関する情報をお知らせします。

2 避難情報

警戒レベル4「避難指示」等の緊急情報をお知らせします。

3 市からのお知らせ

防災訓練、行方不明者情報等をお知らせします。

4 週間予報

毎週金曜日16時前後に週間天気予報を配信します。

※山口市防災メールをご利用いただくには登録が必要です。

新規登録の方法 ①空メールを送信します ②登録用返信メールが届きます ③登録完了

※3分以内に返信メールが届かない場合は、yamaguchi@jijo.bosai.infoからのメールが受信できない設定になっている可能性がありますので、迷惑メール防止機能をご確認ください。

変更・解除の方法 ①空メールを送信します ②登録用返信メールが届きます ③変更・解除完了

※従来型携帯電話（フィーチャーフォン）は新たに登録・変更ができません。



申し込み方法

フォローしてみよう

アカウント名: 山口市防災危機管理課 (@city_yamaguchi)
URL: https://twitter.com/city_yamaguchi



避難情報などをお知らせします。

「山口市防災」ツイッター公式アカウント

友達登録から始めよう

LINE 公式アカウント名: 山口市
LINE ID: @yamaguchi-city



山口市LINE公式アカウント

防災無線情報案内

屋外スピーカーからの放送が、聞き取りにくかった場合、防災行政無線で放送した内容を電話で聞くことができます。

083-934-2691

その他の防災情報アクセス一覧

山口市防災気象情報

気象情報等様々な防災情報をみられるサイトです。



オープンマップ@山口市

市内の施設情報やハザード情報等を表示するシステムです。



山口県土木防災情報システム

県内の雨量・水位・潮位・ダム等の情報が収集できるサイトです。



山口県土砂災害ポータル

(山口県土砂災害警戒情報)

土砂災害のおそれのある土砂災害警戒区域等の確認や大雨による土砂災害発生の危険性を確認できるサイトです。



山口県高潮防災情報システム

沿岸部の潮位や気圧、風速・風向の情報が確認できるサイトです。



気象庁 下関地方気象台

気象情報や警報・注意報が確認できるサイトです。



災害時に必要なものは、家族の状況によって異なります。家族構成や状況に応じて必要なるものを備蓄品に加えましょう。また、冷蔵庫の中の物も立派な備蓄品です。まずは、冷蔵庫の中のものを使いましょう。

4〜7日目は循環備蓄（ローリングストック）を活用するなどの工夫をしましょう。

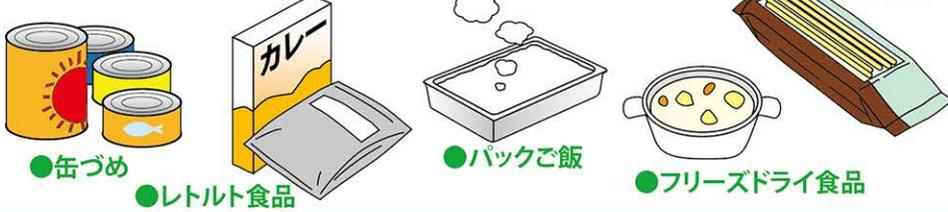
冷蔵庫や冷凍庫の食材を活用する



ご飯や食パン、野菜などを冷凍しておけば自然解凍により食べる事も可能です。停電のときは、クーラーボックスや保冷剤等を利用して食材を保護しましょう。

ローリングストック法で備蓄した非常食を活用する

備蓄しておくの良いもの



● 食べながら備えるローリングストック法とは

ローリングストック法は、保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく備蓄方法です。

日頃から食べ慣れている賞味期限が1年程度のものを意識的にストックして、月に1、2度食べるときに防災について考えるきっかけにしましょう。

①1食分多めに買う。



②1食分を食べる。



③食べた分を買い足す。



②と③を定期的に繰り返して備蓄を一定に保つ

災害時には、電話が通じなくなるなど、家族との連絡が取れなくなる場合があります。危険な場所でも家族を探すことで、より危険な状況となることもあります。

このような混乱を避けるため、あらかじめ家族との連絡方法や連絡が取れないときの集場所を決めておきましょう。

【連絡方法】

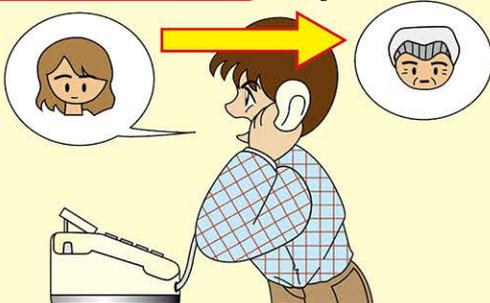
- 電話会社の災害用伝言ダイヤル
- 被災地外の親類や知人を経由した連絡

（被災地の中ではつながりにくい電話も、被災地から外に向けての発信は比較的つながり易いことがあります。あらかじめ、災害時の連絡先としてお願いしておくとう良いでしょう。）

【集場所】

- 避難場所や避難所
- 安全な知人、親類宅 等

連絡先や集場所を決めたら、巻末の「災害・避難カード」に記入し、コピーをしておくか携帯電話等で撮影し、いつも持ち歩くようにしておきましょう。



災害・避難カード (記入したら、コピーするか各自が携帯電話で撮影して保存)

災害から身を守る 山口市防災ガイドブック 発行 山口市 発行日 令和5年●月

■ 集合場所

災害別	一時避難場所(集合場所)	避難先 (第一候補)	避難先 (第二候補)
地震・津波			
高潮 (台風)			
洪水・土砂災害			
家族が離れているときの集合場所			

■ 家族の連絡先等

氏名	血液型	電話番号(携帯・会社・学校)	メールアドレス	メモ

※被災地外の親戚・知人も記入しておきましょう。

■ 持ち出し品のチェック

【飲料水・食料・避難用具】

飲料水 食料(飴、チョコレートなど) 懐中電灯(LEDランタン) 携帯ラジオ 下着、生理用品
靴 軍手 タオル 筆記用具・ノート 貴重品(現金、保険証など) 雨具 携帯電話・モバイルバッテリー
毛布又は寝袋 ティッシュペーパー・ウェットティッシュ 予備のメガネ、コンタクトレンズ

【救急医薬品・感染症対策】

常備薬、お薬手帳 マスク・体温計、消毒液 ばんそうこう・ガーゼ・包帯 スリッパ

【その他家庭に必要なもの】

■ 災害用伝言ダイヤル171

災害時に NTT より提供される「声の伝言板」です。使用方法を知っておきましょう。
(※サービス開始は、テレビ、ラジオなどで通知されます。)



● 災害用伝言板 携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます

NTTドコモ http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi 	KDDI: au http://dengon.ezweb.ne.jp/ 	ソフトバンク・ワイモバイル http://dengon.softbank.ne.jp/ 
---	--	--